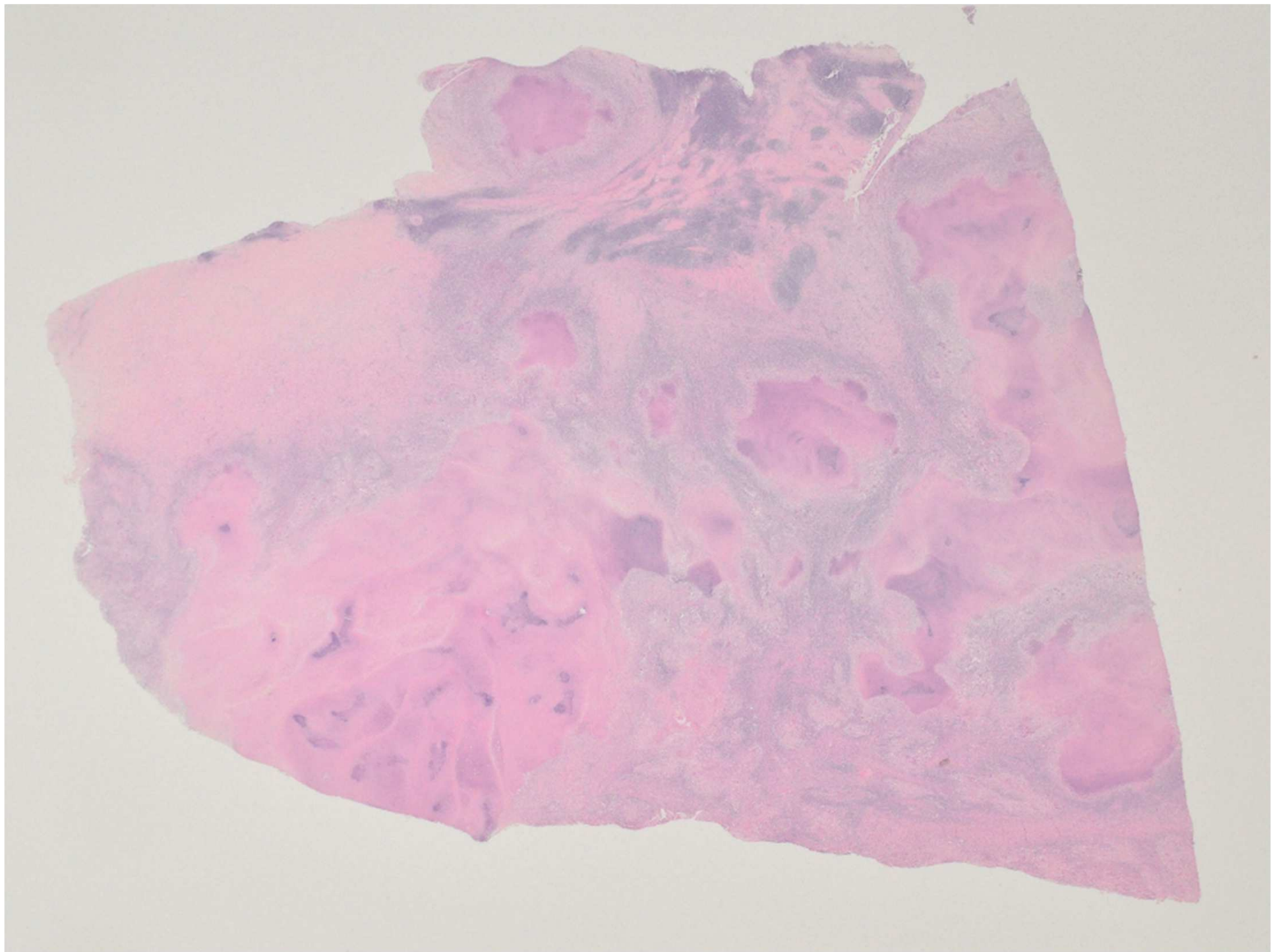


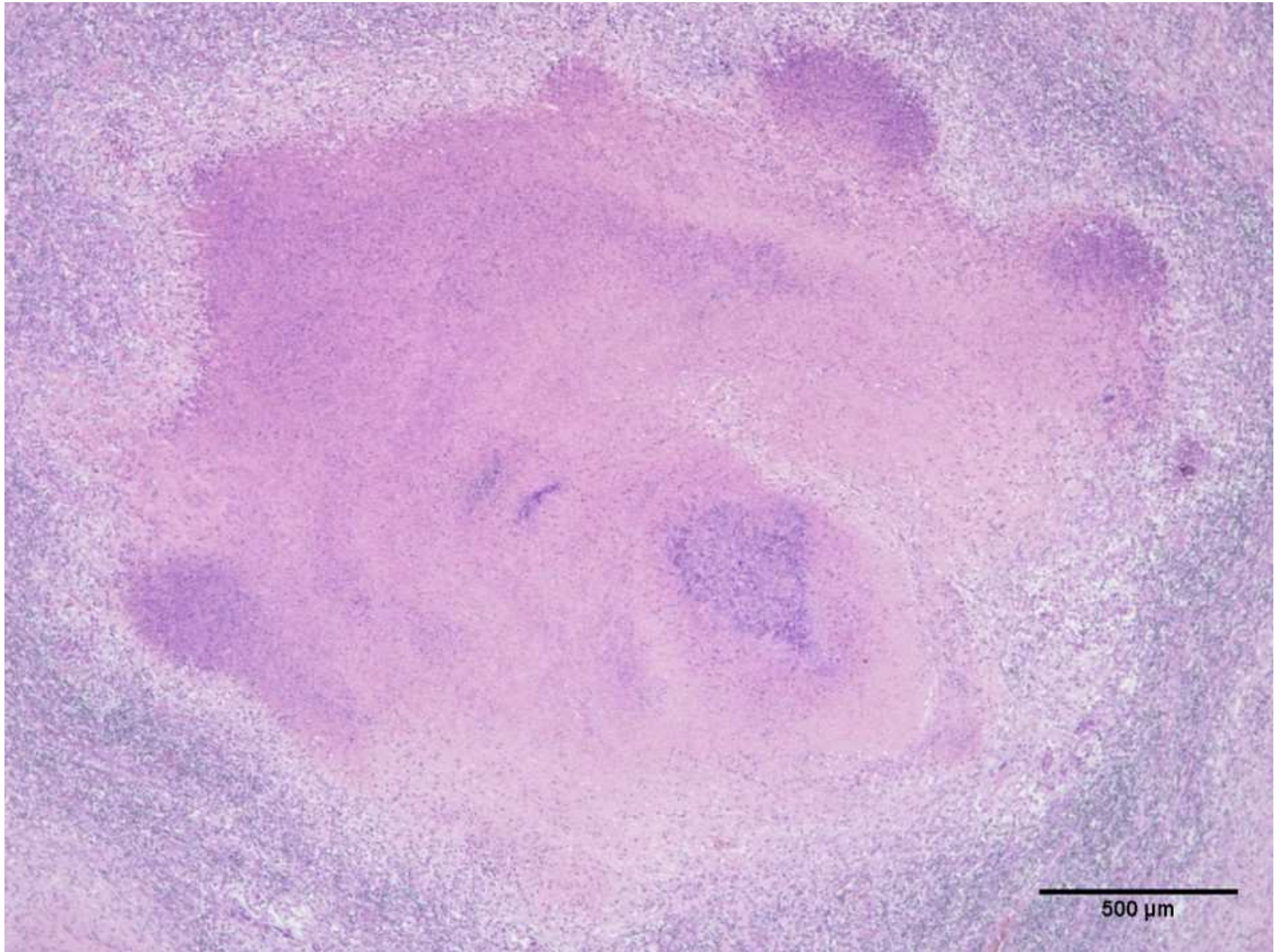
2018-25-2

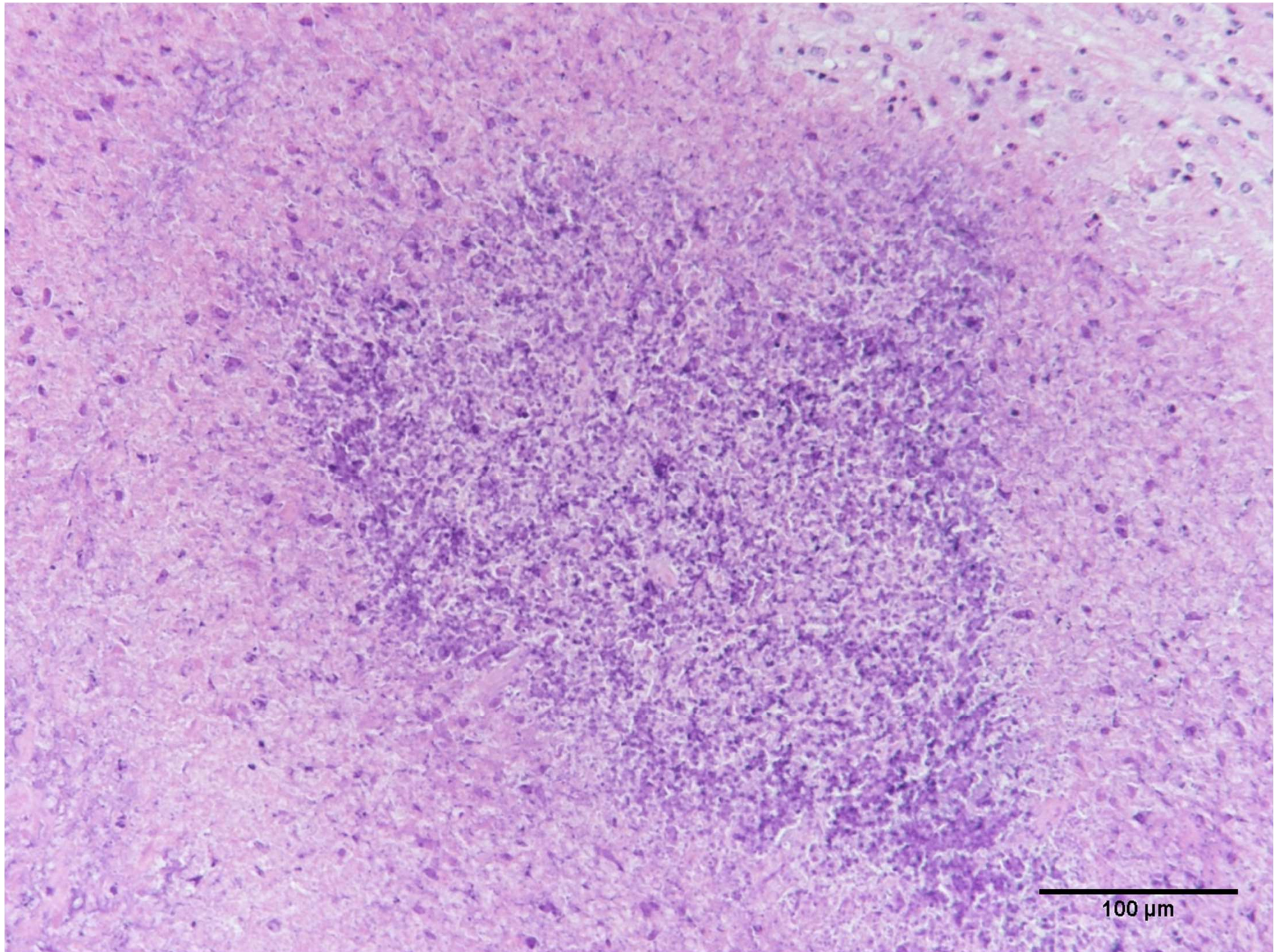
牛 リンパ節

寺山 好美

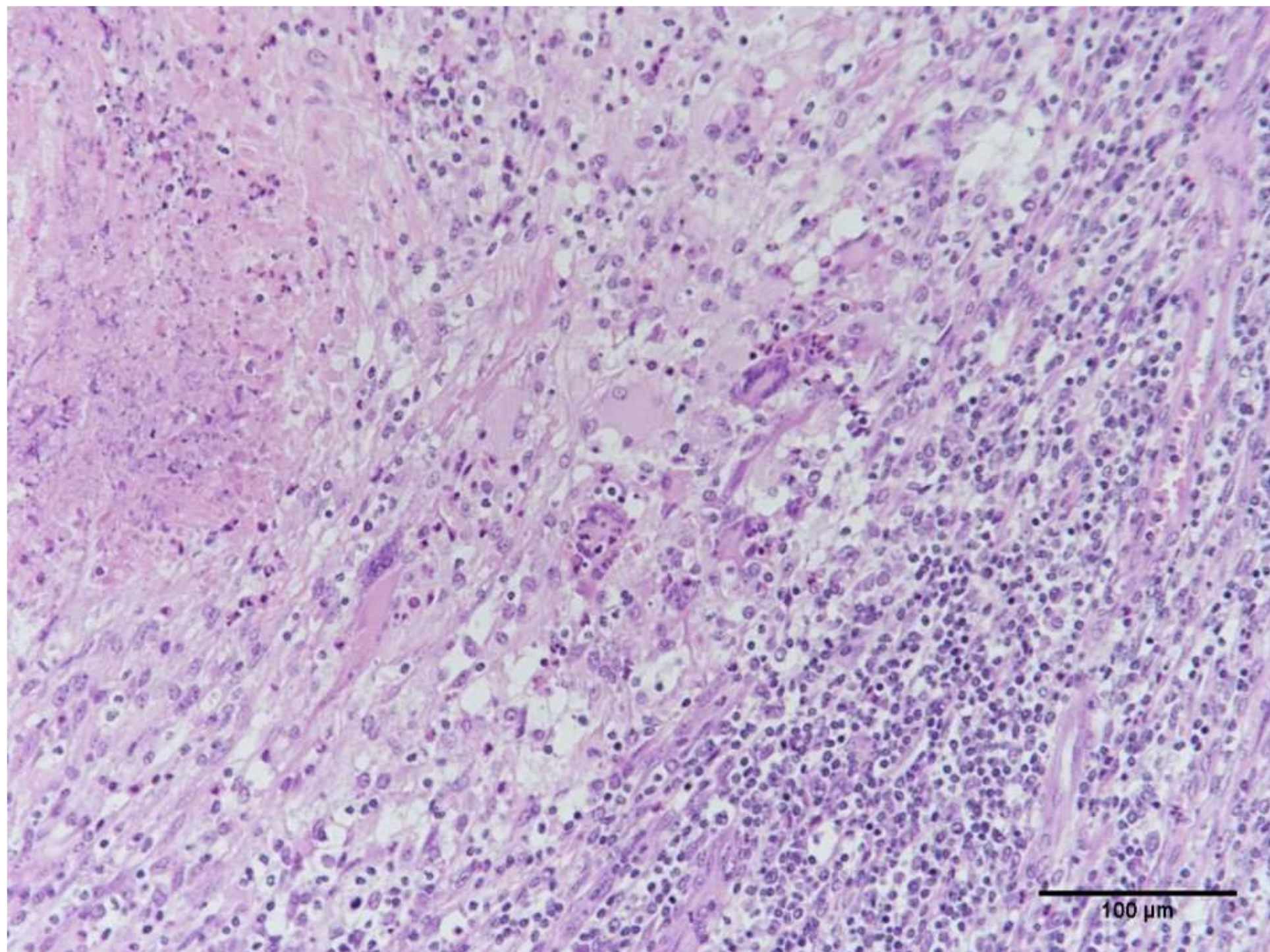
- 提出機関：National Centers for Animal Health, USA
- 症 例：30か月齢以下の若齢牛、性別、品種不明
- 病 歴：と畜場で生体検査に合格し、と殺後の検査中に、頭部、胸腔、腹腔および肺のリンパ節で、結核病を疑う病変が確認されたため、保留された。
- 実験室内検査：
 - ・ホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）組織を用い、下記のプライマーを用いたPCR検査を実施
 - Mycobacterium tuberculosis* complex (IS6110) : **陽性**
 - Mycobacterium avium paratuberculosis* (IS900) : 陰性
 - Mycobacterium avium* complex (16S rDNA) : 陰性
 - ・細菌培養：***Mycobacterium bovis* 分離**

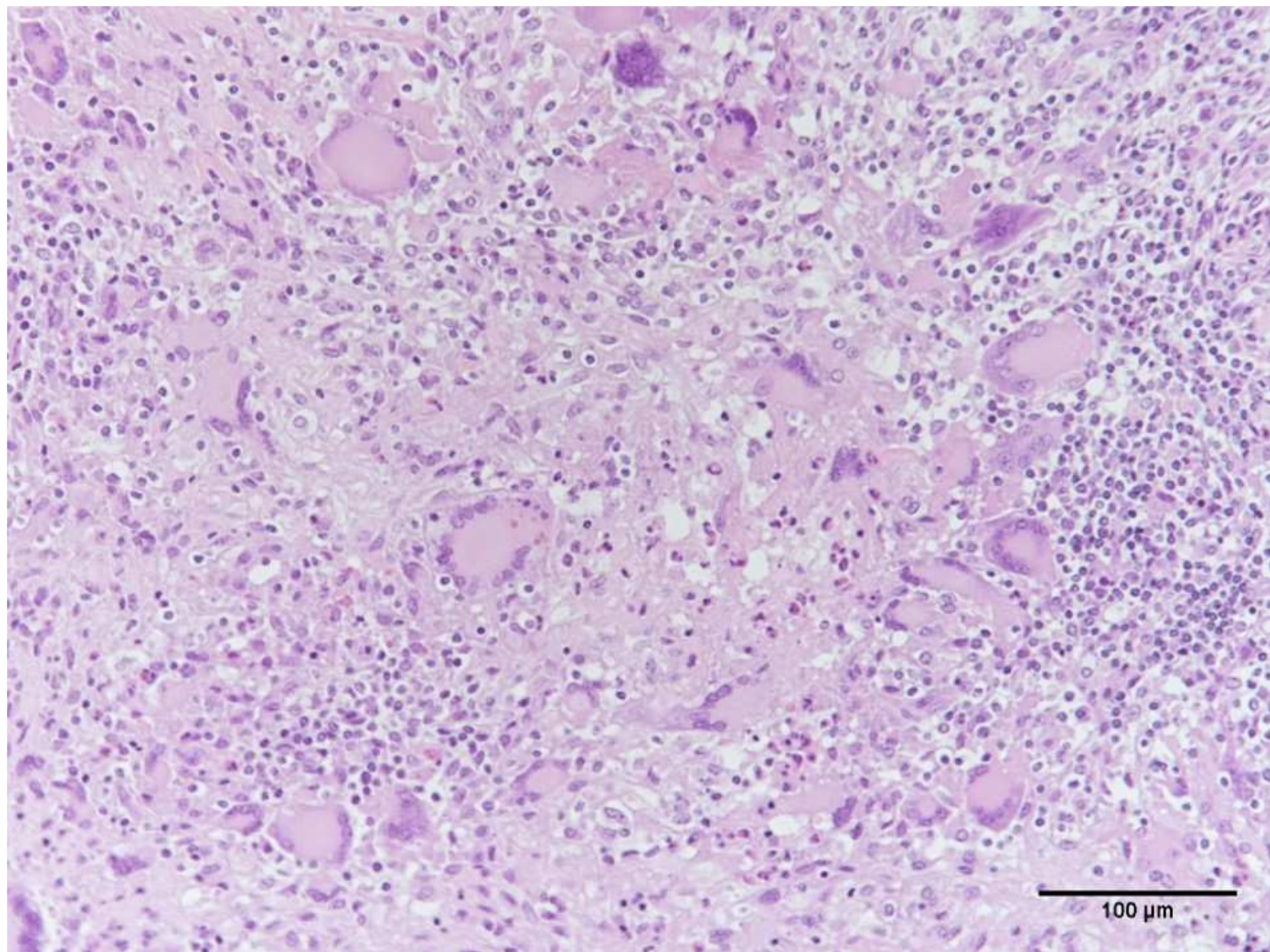


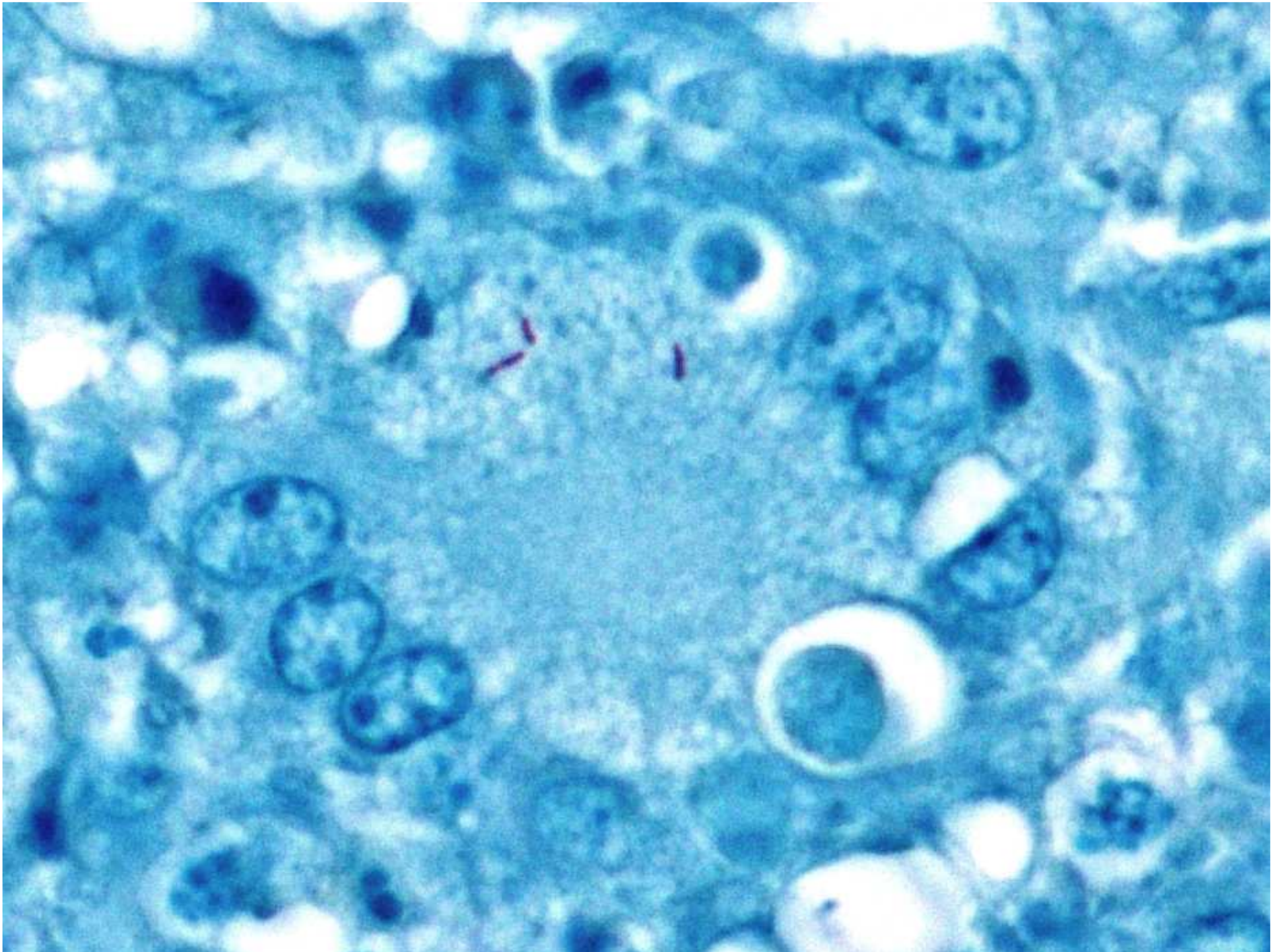




100 μ m







提出者の診断

- リンパ節：リンパ節炎、壊死性肉芽腫性、局所的広範な、慢性、重度
- Lymph node: Lymphadenitis, necrogranulomatous, locally extensive, chronic, severe

JPCの診断

- リンパ節：リンパ節炎、肉芽腫性、多巣性から融合性、重度、び慢性中等度の濾胞及び傍皮質増生を伴う
- Lymph node: Lymphadenitis, granulomatous, multifocal to coalescing, severe, with diffuse moderate follicular and paracortical hyperplasia.

提出者のコメント

➤結核病（牛）

- ・*Mycobacterium bovis*によって引き起こされる人獣共通感染症
- ・臨床症状は、慢性的な消耗性疾患（食欲不振、発熱、発咳、運動不耐性、リンパ節の腫脹）
- ・組織学的には、乾酪壊死巣をラングハンス型巨細胞を伴う類上皮細胞が取り囲み、さらに外側にリンパ球、形質細胞、時に好中球が浸潤し、多発性、融合性の病変を形成

➤アメリカにおけると場モニタリング（牛結核病撲滅プログラム※に基づき実施）と畜検査で結核様の肉芽腫病変を確認

⇒ と体保留

⇒ 検体はNational Veterinary Services Laboratory(NVSL)へ提出

⇒ 病理組織学的検査及び培養検査

※ 成牛又はバイソン2000頭中、少なくとも1頭の肉芽腫病変の検査が必要と規定

➤NVSLにおける肉芽腫病変からの培養成績

M. bovis (32%)

M. avium complex (25.5%)

M. fortuitum /*M. fortuitum* complex (10.1%)

会議のコメント

➤海外では、牛以外の動物が維持宿主となり、地域の家畜の感染を維持していることが報告されている。

➤海外における*M. bovis*の維持宿主

国	北米	イギリス アイルランド	スペイン	ニュージーランド
維持宿主	オジロジカ ヘラジカ	ヨーロッパアナグマ	イノシシ	ポッサム
主な病変 分布	内咽頭後リンパ節、 肺、胸膜	リンパ節、肺、腎臓、 肝臓、脾臓	頭部リンパ節、肺、 肝臓、脾臓	肺、皮下リンパ節
特徴	・リンパ節は膿瘍に 似た中心部を持つ が好中球による病 変はない ・真珠病を形成す ることが多い	・肺病変が一般的 ・多くは不顕性感染	・感受性が高く、 複数の部位に病 変を形成	・感受性が高いが末 期まで無症状 ・皮下リンパ節からろ う管が形成